

第9章 環境学習








1. 環境学習推進事業

(1) 水生生物観察会








河川にすむ水生生物から、その河川の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもとに、子どもから大人まで誰でも簡単にすることができます。この調査を通して、だれもが身近な河川に関心を持ち、水質の状況を認識することで、どうしたら水をきれいにできるかを考えるきっかけになるとともに、調査を続けることで、身近な河川の水質を守り続けることにつながります。



表 41 川にすむ生き物たち

分類	指標生物	特徴	例
I きれいな水にすむ生物	カワゲラ類	尾は2本で、胸や下面や腹の末端に房状のえらがあるものが多い。足のつめは2本。溪流の石の間や、流れがゆるやかで落葉などがたまっているところにすんでいる。	
	ヒラタカゲロウ類	足のつめは1本で、尾は長く2本。目が上についており、体全体が平たくカレイのような形。腹の両側に木の葉状の大きなえらがある。流れの速いところの石に体を密着させて生活している。	
	ナガレトビケラ類	体は細長いイモムシ状で、足は3対。腹の色はうすい。頭と前胸が硬くなっているが、他はやわらかい。肉食の種類が多く、上流の水温の低い、きれいなところにすんでいる。流れの速いところに多い。幼虫は網や巣をつくらずに石の上や間を歩く。	
	ヤマトビケラ類	体は太くイモムシ状で、足は3対で短い。体色は茶色で、頭と前胸は固くて茶色。砂つぶでできた亀の甲のような巣をかついでいるのですぐ分かる。巣の下面には頭と尾部を出す穴がある。	
	アミカ類	頭には2本の触角があり、ロボットのような形をしている。腹に6個の吸盤があり、その吸盤で急流の岩の上にとっついてる。	
	ヨコエビ類	体は左右に平たく、背中が丸まった小さなエビのような形をしている。体の色はオレンジ色や茶褐色のものが多い。主に上流の石の下や水中にたまった落葉の間にすんでいることが多い。	
	ヘビトンボ	大きな強いアゴをもち、腹に糸のような横にのびる長い突起があり、その付け根にえらがある。肉食性で他の水生昆虫をえさにする。川底の石の下などにすんでいる。	

	ブユ類	体はこげ茶色で、腹の後方が太くなっている。尻に吸盤があり、流れの速い川底の石の表面や草にしっかりとついている。親になって人の血を吸うのは5種類くらいである。	
	サワガニ	甲羅の大きさは2～4 cmで、色は赤みがかかったものから青みがかかったものまでいろいろおり、比較的浅いところの石の下にすんでいる。腹帯の太いのがメス、細いのがオス。本州の淡水域で一生を過ごすのはこのカニの種類だけである。	
	ナミウズムシ	体の色は茶色、ねずみ色、黒色。体はやわらかく、切れやすい。また、体には節（大節）がない。プラナリアともよばれ、石の上をすべるようにはう。	
ロ ややきれいな水にすむ生物	コガタシマトビケラ類	頭の前縁に小さなくぼみがあるのが特徴で、頭と胸は赤茶色をしている。腹は鮮やかなうす緑色から緑がかかった茶色、あるいは茶色など、いろいろな色をしている。	
	オオシマトビケラ	頭から胸にかけて固く、うすい茶色である。他は茶色から緑色でやわらかく、頭の上部の平たい部分が広いのが特徴。	
	ヒラタドロムシ類	体は固く、上下に平たい円形か卵形で、色は黄色か茶色。短い足は3対あるが、背の方からは見えない。流れの速い瀬の石の表面にぴったりとついている。	
	ゲンジボタル	体は黒色で、前胸に、ランプのダイヤの模様がある。ヘイケボタルはよく似ているが、ゲンジボタルのほうが大きい。	
	コオニヤンマ	体は赤茶色で薄い平らな広葉状あるいはうちわ状の形をしている。触角の3番目の節が大きくなり、うちわ形。流れの比較的遅いよどみの底で生活している。	
	カワニナ類	殻は細く、長い。殻の上部が欠けていることが多い（殻高1.5～3cm）。殻の表面は黄土色またはこげ茶色。石に付着していることもあるが、砂まじりの川底にいることもある。塩分のあるところにはいない。	
	ヤマトシジミ	二枚貝で、殻は小さいうちは青緑色だが、成長すると黒色になる。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。	
	イシマキガイ	殻は固く、石についている。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。	
ロ きたない水にすむ生物	ミズカマキリ	大きさは7 cm くらいで体は細長い。陸上にいるカマキリのように、前足で他の小動物をつかまえて、その体液を吸う。主に池や沼、水田にすんでいるが、川岸の流れのゆるやかな場所にもすんでいる。	
	ミズムシ	体長は、おおきくなくても1 cm くらいで、ワラジムシに似た形で上下にやや平たくなっている。足は5対以上で、ゆっくりはう。体は汚れたような灰色または茶色。	
	タニシ類	タニシの主な種類は4種類である。殻は薄く、赤茶色の蓋があり、流れのゆるやかな泥底にすんでいる。殻の先が欠けていることが多い。	
	シマイシビル	大きさは3～4 cmで、大節がある。大きく伸び縮みして動く。体は上下に平たく、背面にしま模様がある。腹の前後の端に吸盤があるが、前の吸盤は見にくい。水に沈んでいる石など	

		の裏側などにすんでいる。	
	ニホンドロソコエビ	体は左右に平たく、ちぎれやすい。また、細長い触角があり、泥の多い川底にいる。主に汽水域にすんでいる。	
	イソコツブムシ類	陸にいるダンゴムシに似て、体を丸めることができる。砂まじりの川底や石の間にすむ。水中をすばやく泳ぎまわることができる。主に汽水域に見られる。	
M とてもきたない水にすむ生物	ユスリカ類	腹の後ろの方の節に2対（4本）または1対（2本）の棒状のえらがある。体の色は赤いものが多い。流れのあるところに泥などでチューブ状の巣をつくって生活している。	
	チョウバエ類	大きさは8mmくらいで、細長く、足はない。下水、排水溝などにすんでいる。尾に長い突起（呼吸管）がある。	
	アメリカザリガニ	流れがゆるやかで浅い泥の多い川底にすんでいる。北アメリカから入ってきた外来種。	
	エラミミズ	大きさは最大で4cmくらいになる。ピンク～赤色の太い糸状でちぎれやすく、頭ははっきりしない。体の後方にたくさんのえらがある。	
	サカマキガイ	殻のとがった方を上にして見ると、口が左側についているのが特徴（左巻き）。流れのないところでは水面に逆さ向きになっていることがある。	

水生生物調査は、令和6年度は市内3河川において、川の近くにある小学校の児童が実施し、結果は表42のとおりになりました。

表42 水生生物観察会の記録

調査日	河川名	調査場所	結果
2024/6/4	野間川	御調川合流点付近 (今津野橋下)	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/7	藤井川	養老橋下	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/7	藤井川	養老橋下	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/12	藤井川	成楽橋付近 (阿吹川含む)	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/13	諸原川	駅前橋下流 90m地点	Ⅰ きれいな水
2024/6/19	門田川	日比崎門田線一号橋	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/19	門田川	門田一号橋下	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/19	門田川	バイパス南	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/19	門田川	横目橋上流	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/19	門田川	一号橋	Ⅱ ややきれいな水
2024/6/19	門田川	ビオトープ	Ⅱ ややきれいな水
2024/7/10	藤井川	親水公園前	Ⅱ ややきれいな水
2025/7/28	野間川	御調川合流点付近 (今津野橋下)	Ⅱ ややきれいな水
2024/9/10	木門田川	旧 JA 木ノ庄西出張所裏	Ⅱ ややきれいな水
2025/3/14	山田川	花ノ木橋下	Ⅱ ややきれいな水

(2) 海辺教室・里山教室・海事教室

市内の小学生（4～6年生を中心）を対象として、海辺と里山の環境について学ぶ事業を平成22年度より実施しています。

海辺教室は夏に行い、海の生きものや海洋プラスチック汚染等の環境問題について学習します。里山教室は冬に行い、山と川と海のつながり等について学習します。

また令和2年度より、尾道 COOL CHOICE プロジェクト推進事業の一環として新たに、海事教室を実施しています。

複数の学校が参加するときには、環境学習とともに、学校間の交流も行われています。



R6 年度環境学習（出張授業）実施状況

	参加校	参加者
水生生物観察会	11校 (1回は親子対象で開催)	459人
海辺教室	1校	44人
里山教室	1校	41人
海事教室	3校	102人
合計	16校	646人

(3) 出張授業

尾道 COOL CHOICE プロジェクト推進事業の中で環境学習をさらに推進するため、尾道の環境について精通している企業等の協力のもと出張授業を行っています。

① 太陽光発電教室

国際航業株式会社が尾道市の土地を利用して太陽光発電事業をする中で、地域貢献として子どもたちを対象とした太陽光発電教室を開催しています。

太陽光の持つ働きや地球温暖化等の現状を踏まえて、地球環境について学習しています。

② リサイクル教室

株式会社オガワエコノスが、環境問題についての意識の高揚を図ることを目的に、ごみ処理のしくみやリサイクルをテーマとして開催しています。

③海洋教室

国立弓削商船高等専門学校が、物流を支える船舶に関わる海の環境問題を取り上げ、海洋プラスチック汚染問題や、私たちの豊かな生活を支える海運についての関心と理解を深めることを目的に実施しています。

R6 年度環境学習（出張授業）実施状況

	参加校	参加者
太陽光発電教室	3校	123人
リサイクル教室	5校	164人
海洋教室	2校	79人
合計	10校	366人

2. CO₂削減推進事業

地球温暖化防止につながる取り組みとして、市民や市内の事業所が、地球温暖化について学習しながら参加できる形の企画を行っています。

平成27年度からは「エコでポケットガーデン」として家庭での電力使用量の削減状況に応じて台紙に様々なステッカーを張り付けることで豊かな森をめざしていくもので、平成30年度からは「おのみちECO-1グランプリ」として、節電で得られた電力を使って仮想の電気自動車を走行させ、走行距離により評価して優秀者を表彰しています。



節電・省エネに楽しく取り組もう！

基本チャレンジ

ECO-1 グランプリ



★取り組み期間：
令和7年6月から令和8年1月まで
期間中の連続する4ヵ月以上のご参加が必要です

節電で得られた電力で電気自動車を走らせると、一体どこまで進めるでしょうか？
ご家庭での節電の成果を電気自動車の走行距離に置き換えることで、わかりやすく楽しい節電の取り組みをめざします。

●電気自動車は1kWhの電力で10km進むことができます

★削減実績のチェック方法

下記二つの方法のうち、削減実績がより大きくなる方で実績を算出します。

① 前年同月分使用量との比較

毎月の統計表「電量ご使用量のお知らせ」に記載されている、当月分と前年同月分の使用量増減を比較する。

② 使用量めやす値との比較

電量使用量めやす値（住居形態別・世帯人数別の平均的な使用量）と当月分使用量との増減比較。

★引越越し、世帯人数の増減などの事情で前年同月分との使用量比較ができない場合は、方法②で実績を評価します。

★電料金額請求額から使用量を推計することもできます。別途ご相談ください。

●走行距離が長くなるほど、記念品の種類・数が豊富になります！

取り組みの流れ

- ① 参加申し込み
- ② 節電・エコ活動を実践する
- ③ 月々の節電実績をチェック
成果をコース図に記入して確認
- ④ 実績報告
(取り組み最終月または期間中の報告月)
進捗状況のお知らせ
・到達シール等の獲得
到達地点に応じて記念シールを獲得できます
- ⑤ 記念品獲得・表彰
●実績に応じて記念品を贈呈！
特に優れた成果を上げた方を表彰します

★走行コースは3種類 ●開始時に選択したコースを完了した場合、次のコースに進みます

- A: 尾道～四国八十八ヶ所～高野山まで …しまなみ海道から四国霊場を巡り、高野にはお礼参り(全長1780km)
- B: 奥の細道コース (全長1820km) …和電電車の参りた東北路をたどります
- C: 日本縦断世界遺産コース (全長3990km) …世界遺産を巡りながら日本列島を北上します

CO₂ 排出削減推進事業 / 尾道市公衆衛生推進協議会

令和7年度

おのみち ECO-1 グランプリ

地球にやさしく走ろう! エコドライブ 編

参加者募集中!

実践期間: 令和7年6月～令和8年1月
●期間中の連続する4ヵ月以上でご参加ください

募集期間: 令和7年4～10月

燃費のよい運転をすると、地球温暖化防止の原因となるCO₂排出量の抑制につながります

★燃費に自信のない方もまずはチャレンジ!!

地球温暖化による異常気象の頻発化、ガソリン価格の高止まり…
「エコドライブ」を実践して、地球にもおサイフにもやさしい暮らしをめざしましょう!

★2つの部門で実績を評価します!

- 参加することに意義がある!
エコドライブ初心者部門
- さらなる低燃費をめざそう!
グランプリチャレンジ部門

